

NAGANO-KEN CLUB

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>
jia-naga@jeans.ocn.ne.jp

JIA 長野県クラブ



Vol.68

2006

01.01

「道 程」

JIA長野県クラブ副会長 川上 恵一

『ぼくの前に道はない ぼくの後に道は出来る。ああ、自然よ 父よ…』

中学の授業で覚えた高村光太郎の詩が口をついてくる。ちょっとしたきっかけで建築の道を歩んで30年、振り返ると確かに細々とした道は出来たが、『この道より我を活かす道なし この道を往く』ほどの覚悟までは出来ないでいる。

『春は花咲き、夏茂り、秋は紅葉の…』の言葉の如く確実に人生の2／3まで来た。そして時々は覚悟の様なものも持つようになった。

巷では人を騙して金を取ったり、肉親を殺したり、自殺者の報道が後を絶たない。私たちの業界でもアスベスト問題に続いて構造設計偽造問題が発覚し、それらは政治の問題にまで拡大しとどまる様子がない。のぞき見主義的な報道は偽善者気取りで全く自己批判のかけらも感じられない。そして、安全・安心・福祉・個人の自由・権利の保護といった耳当りの良い言葉のみが空しく聞こえてくる。凶悪犯罪や倫理観の欠如はここに極まった感がある。「なぜなんだ？？」という分析の前に言えることは、これらはすべて人災で畏れを忘れた「平和ボケ」以外の何ものでもないということである。

司馬遼太郎は独自の史観で一条の光明を見て、私達に「この国のかたち」を、またに若者には「21世紀を生きる君達へ」という強いメッセージを残してくれた。あれから11年が過ぎ、皮肉にも現実は予言していた通りの有様である。

どんな人でも多かれ少なかれ邪悪さと良心を持ち合わせ、その間で葛藤しながら生きている。だから絶対の善にすがらなくては生きられない弱い存在なのである。労働が義務である以上お互いがお互いを利用し、助け合って働き、より良き方向を見つけ具現化すべく人生を全うするのである。自分も「姉歯とは違うぞ！」といってみたところで天にツバとするが如きである。この醜惡な現実はまさに自分の問題である。建築界が失った取り返しのつかない信頼をJIA長野県クラブの仲間と共に少しでも取り戻す努力をしようと思う。

平成18年の新春に際し気持ちは重い。



11月26日 まち並ウォッチング「諏訪の町なみ」



12月10日「本音で語る会」



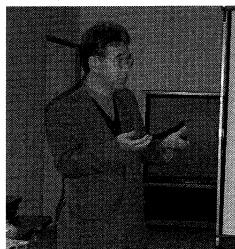
11月26日 まち並ウォッチング「片倉館」

「構造計算偽造問題について思うこと」

2005年12月10日、「本音で語ろう会」は参加者の白熱した意見が聞かれました。代表して4名の方に書いていただきました。

高い職能倫理観の確立を

JIA長野県クラブ 会長 高橋 重徳



倫理観を問われる問題と
答える高橋会長

この度の姉歯一級建築士による耐震強度偽造問題は、社会に大きな衝撃を与え、この事件を契機に建築業界を取り巻く様々な問題を顕在化させました。そして最も残念なことは、我々設計者に対する市民や消費者の信頼感を失墜させてしまったことです。

その原因の一つは設計者のモラルの低下です。

当会会員の皆さんには、特に建築家の職能倫理を基本的なスタンスに据えて、日々の努力を重ね活動されていることと思います。しかし、建築の設計業務に携わる一人として、この問題を他人事とせず、この事実を厳粛かつ深刻に受け止め、反省すべきは反省し、社会の信頼の回復に努めなければなりません。

当会は、建築設計の資格のあり方や、職能倫理の向上に関し、どこよりも積極的に取組んでおり、「定款」・「建築家憲章」・「倫理規定」・「行動規範」などで明確にされています。

さらに、「登録建築家」制度の導入により、現在の建築士制度と違う設計監理者の資格を新しく社会に向けてより明確にする努力を進めています。また特にCPD(継続職能研修)制度を通じて技術や知識にとどまらない自らの研鑽に努めることにも取組んでいます。

二つの制度を活用し推進することで、消費者の眞の利益擁護のため、より高い職能倫理観の確立を目指す会員の皆さんの一層の努力をお願い致します。自立と自律の精神で頑張りましょう。

「構造計算書偽造事件」に思う

(株)アーバー建築事務所 山口 康憲



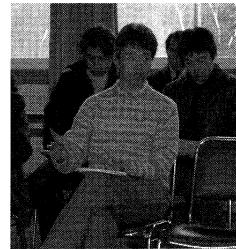
今回の事件は我々建築に携わる者にとってあまりに衝撃的で悲惨なものだ。背景には様々なものがありその原因は徹底して追求されなければならないが、論点を整理する為にあえて2つ挙げるなら道徳・倫理という個人の資質や業界の体質の問題と、行政も含めたわが国の建築界の仕組みの問題と言えると思う。

前者に関しては構造設計者の個人の資質を特別扱いして我々は違うという態度は避けるべきだろう。職能倫理は内に向かって求めるべきで、外に向けて発信しても誰も信用するとは思えないからである。また業界が本来抱えているネガティブな体質というような捉え方に組するべきでもないと思う。倫理規範をこの業界だけに求められても酷いうるもので、国全体で喪失してしまった道徳心・倫理観を回復できるのは「教育」だけで、極論を言ってしまえば30年や50年は最低かかるというものだ。行政としては性悪説に基づいてチェックを厳しくし罰則を強化するより方法はないだろう。制度も業界の成立も解体的な出直しを迫られることは間違いないと思われる。

JIAが問題にすべきなのは今回の事件の仕事=金の流れの構図の中で設計者の存在が絶望的な程低いことで、設計施工に代表されるわが国独特的な習慣が悪意を持ってすればいかに社会に対する背信行為をもたらすかということである。構造と設備も含めた設計者の地位向上と、官庁発注の入札問題でも明らかのように必要悪とでも言わざかねない建築設計に対する社会全体の低い評価を根本から覆す最後にして最大のチャンスと捉えて訴えていくことが重要と考えるが、その前提として社会の信頼に足る資格制度の整備とそれを担保する資質の向上及び職能倫理の確立を悲壯な覚悟で実践する時だと思う。

構造設計者のつぶやき

伊藤構造計画工房 伊藤 正明



構造問題について
質問に答える伊藤さん

構造設計者は建物が安全な物となる為に、建築基準法や各構造の設計基準に沿って設計します。それが仕事です。安全性は、施主や意匠設計者等の希望より優先される絶対条件です。施主もしくは依頼者が無理な注文を出した場合、それが間接的であっても、安全性に係わる場合には断るしかありません。状況によっては、どんなに時間を費やしても設計料をもらえなくななる事を覚悟します。この事は構造だけでなく、全ての設計者にとって共通する事だと思います。

構造設計者が設計した物を誰がチェックするかと言えば、現状では確認申請時の構造審査しかありません。安全に係わる問題は2重のチェックが必要だと思いますので審査はしっかりやってもらいたいと思いますが限界がある事も事実です。施主や意匠事務所にとって、確認申請が降りる事は、安全に対して問題ないと評価を受け取っていたのではないかでしょうか。今回の事件でこの点が崩れてしまった意味は大きい物があります。安心の為には保険の様な補償体制が必要だと思います。

構造は建物と一体である為、意匠と共に仕事を行いますが、施主から見れば顔の見えない存在です。契約上はもちろん、申請上も名前が出なくても問題になりません。監理の問題もあります。しかし実際には、構造の専門家が行う場合がほとんどです。現状に合わせて資格と責任について見直す時期に来ていると思います。

ものづくり

山田建築設計室 山田 健一郎



年末の本音を語る会は、大勢の会員が集まり職能倫理問題について語り、忘年会も自然とそこに話が向かった。巷にこの話題が溢れてから半月、他人事と思うにも気が晴れない。

こんな時は「良いもの」を見るに限る。「吉村順三展」を見に、十何年ぶりに母校に足を運んだ。展覧会の前に、懐かしい教室を覗いてみると、室はきれいになったが、相変わらず雑然と並ぶスタディー模型に、純粋に自由に建築を考えていた学生時代を思い出す。

美術館の入口では、吉村順三の言葉が迎えてくれた。「建築家として、もっとも、うれしいときは、建築ができ、そこへ人がはいって、そこでいい生活がおこなわれているのを見ることである。」吉村順三は生活者の為に建築を作り続けた。

展示は、住宅・オフィスビル・大学・音楽堂・吉村順三の言葉や建築写真は感性を語るが、模型・図面をひも解くうちに、建築の構成や架構の合理性に改めて気づく。うわべの感性ではなく、生活・合理性・美しさ・強さ・全てを包み込む力強い感性が感じとれる。

学生の頃、建築家は「芸術家」でなく「ものづくり」と教えられたのを思い出した。

「現実に、物であるということはね、逃れられないことだね。だから、建築家には実物を作るという責任が、あるわけでしょう。(1979) 吉村順三」

物から逃げずに、建築を作り続けた人がいた。別の世界の話ではない、これが我々建築家の世界だと思ったら元気が出てきた。

委員会活動報告

2005年12月10日、松本『薬師平蔵宿』にて「技術交流会」「本音で語ろう会」「会員作品発表会」「忘年会」が行われました。

技術交流会に参加して

菊池ひろ建築設計室 菊池 弘之



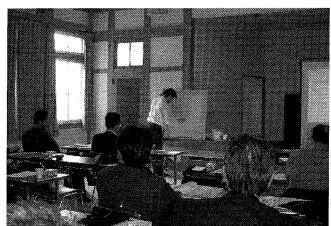
今回の技術交流会は、はじめに日本オスモ㈱の大黒さんによる無公害木材保護塗装（オスモカラー）の説明がありました。内部・外壁用・床用などの塗装実演もしていただき、半分程塗った後比較して見たい所なのだが、几帳面な方なのか誰かが止めるまで塗っておられた。床のメンテナンス材についての説明等参考になりました。

タイミングよく翌日、クライアントに床のメンテナンスの事を聞かれ、何年も前から知っているかの様に、得意顔で説明してみました。（ちょっといやらしかったか！？）

次に、メカ・エンジニアの岩間さんより電気式半導体PTC、面状発熱体の説明を受けました。床暖としてももちろんですが、アスファルト下へ埋設しての融雪効果は、興味深く感じます。

無垢の板材にオスモカラーを塗るか。床暖をし、合板フローリング（床暖用）を張るか。

けっこう悩みませんか？



会員作品発表会

彰建築設計事務所 竹花 彰男

会員作品発表会に参加しました。今回は、4名の会員の方から発表があり、地域産材の普及に努力されブランド化されるまでの地域とのかかわり方、次に伝統工法にこだわりまた独自の規格材を考えロスのない材料の使い方、又は解体の決定していた古民家をみんなの力で救い、見事店舗として再生したこと、最後に、引渡して1年後の住宅を訪問し実際の使われ方にについてなどの多種にわたるテーマで発表が行なわれました。普段作品に対して生の声を設計者から聞くことは少なく、大切な何かを見逃してしまいがちですが、この発表会を通して、それぞれの会員の方の、地域やクライアントのかかわり方、設計の組み立てやまとめ方など、それぞれの個性があらわれ、滅多に聞けない裏話なども披露され、会場からは活発な質問がとびだし、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました、次回の発表会を楽しみにしたいと思います。

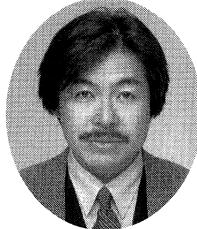


忘年会

今年も又、忘年会の時季がきた。入会して6回目の忘年会だ。この会は何故こんなに無いのか？この1年の良かった事、悪かった事を反省し、この一時、総てを忘れて杯を傾ける宴なのに。色気ひとつ無い、耳触りなカラオケさえも無い。紹介された新会員も正会員も賛助会員も旧知の友の様に、呑む程に、酔う程に、熱病に冒された病人の如く、熟く語りあっている。これがJIAか？これが拘りなのか？変な集団ではあるが大好きだ。三本の中締めも上の空そのまま2次会へ、その間三々五々抜け出して露天風呂へ、眼下に塩尻の灯りを観て温めの湯に身を沈める。3次会は部屋に帰っても続き、隣の部屋からも話声が聞こえている。気

本音で語ろう会に参加して

グランペール計画 小林 克己



『本音で語ろう会』に参加しました。当日は、今世間で問題になっている構造計算偽造問題について語り合いました。冒頭高橋会長より、JIAとして・私自身はどうか？この問題に関して、改めて自分達のスタンスを考える。又これを機会に職能倫理規定など読み返してみては、という問いかけがあったので・・・。

確認してみました。

建築家憲章

建築家は、自らの業務を通じて先人が築いてきた社会的・文化的な資産を継承発展させ、地球環境をまもり安全で安心できる快適な生活と文化の形成に貢献します。

(公正中立) 建築家は、自由と独立の精神を堅持し、公正中立な立場で依頼者と社会に責任を持って業務に当たります。

(たゆみない研鑽) 中略

(倫理の堅持) 建築家は、常に品性をもって行動し倫理を堅持します。社団法人日本建築家協会（JIA）会員は上記憲章のもとに集う建築家であり、JIAは会員の質と行動を社会に保障するものです。

上記憲章に恥じない行動がとれるよう、あ・ら・た・め・て・精進していきたいと思います。

賛助会員 (有)E,C,O代表取締役 依田 幸紀



今回は耐震強度偽造問題を取り上げられた。テーマは想定外というよりも、各設計の先生に御提案させて頂き成り立っている商売柄の私にとっては、避けて通りたい御法度のテーマでした。

実はこの問題は先週某業界の無尽に出席した席で話題満開となりある人がこれは、氷山の一角と云った一言で集中攻撃を受けタジタジしていた事が頭を過ぎったからでした。発言は活発で倫理観やそれに基づいた、先生とお施主様の体験談等一つ一つが私の今後の良い勉強になりました。

今までやってきた仕事に於いて説明責任を果たす事が出来ていたのだろうか？物事においては、断れる勇気というものが自分に有ったのだろうか？有ったとしてもそれがずっとこの先まで持続出来るのだろうか？対岸の火事では無い！そう思ったのは私一人だったのでしょうか？

本題の締めくくりに、西沢先生より清く、美しく、貧しく原点に戻り、正しい事を貫けば、全ての問題が解決されるだろうというお言葉があり、全くその通りと深く頷く自分がそこにいました。

賛助会員 コーティングコーポレーション 中川源右

がければ布団からは鼾、気になりつつも一眠り、早朝ひと風呂浴びれば頭もスッキリ朝飯も旨い。後髪を引かれながら宿を後にした。お偉い先生の講演会を聴いたよりも有意義で、勉強になる。今回は耐震強度偽造問題の話題で広がったが、次回は何の話で盛り上がるか今から楽しみだ。



